

5月26日(金) 年金裁判控訴審判決報告集会
18:30 ラポール京都

5月31日(水) 最賃署名ステップアップ学習会
18:30 ハートピア



京都総評

京都地方労働組合総評議会：発行

第 279 号

発行所
京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階
京都地方労働組合総評議会(京都総評)
電話 075(801)2308 FAX 075(812)4149
E-mail sohyo@labor.or.jp URL http://www.labor.or.jp/sohyo/
(発行責任者) 梶川 憲 (編集責任者) 吉岡 勝

京都労働相談センター

電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp



物価高騰を上回る賃上げを!!



第94回全京都統一メーデー



働くものの団結で生活と権利、平和と民主主義を守ろう

4年ぶりにコロナ禍前の形態で開催された、第94回全京都統一メーデー大会。

お天気にも恵まれ、会場の二条城前広場に4000人が参加しました。また、府内11カ所でメーデー大会が行われました。

二条城前の全京都統一メーデー大会では、梶川実行委員長が、「物価高騰を超える賃上げをめざして、引き続き奮闘する仲間に関連・団結してたたかおう」「『最賃1500円、均等待遇、ジェンダー平等』と大いに声をあげよう」「労働者・国民の願いに根差したまともな野党共闘を、国でも地方でも一刻も早く実現させることを、心から呼びかける」「要求実現に奮闘する労働組合の姿に、組合加入が広がっている。労働組合と一緒に声をあげ、職場を、社会を変えて行くではありませんか」と主催者あいさつ。

自由法曹団京都支部幹事長の福山和人弁護士、日本共産党こくた恵二衆議院議員、新社会党京都府本部の駒井高之書記長が来賓あいさつ。京都府知事と京都市長のメッセージが紹介されました。

争議団・争議組合の仲間が登壇し、代表して京都市の不当労働行為とたたかう福祉保育労学児支部の大西良武さんが決意表明し、すべての争議解決への支援を訴えました。

メーデー宣言採択のあと、3コースのデモで市民にアピールしました。



全京都統一メーデー実行委員長
梶川 憲

23春闘で、団交とストを含む統一行動などで総決起してきました。引き続き奮闘する仲間に関連・団結してたたかおうではありませんか。

岸田首相は、「構造的賃上げ」「異次元の少子化対策」と言っていますが、異次元の賃上げこそ必要です。しかし、政府は、ケア労働者の処遇改善も、中小企業への直接支援の声にもこたえていません。いかに物価が高騰しても、最賃の再審議も人勧の再改定もないままです。年金改悪は続け、消費税減税に背を向け、インボイス制度導入など暮らしと生業を直撃する政治ばかりではありませんか。まじめに賃上げと向き合って、春闘の労使交渉をすすめてきたすべ

メーデー大会主催者あいさつ(要旨)

ての関係者を愚弄するような政府の態度に、怒りをこめて、「最賃1500円、均等待遇、ジェンダー平等」と大いに声をあげようではありませんか。

年間6兆円もの予算を大軍拡に振り向け、「戦争しに行く国」と大増税の亡国の道を岸田政権が暴走し出しています。原発帰還と永続化の法律をひとくりにして強行しています。

憲法9条を持つ被爆国日本が、核や武力に頼らない平和外交のモデルをつくること、脱原発の先頭にたつこと、これが世界に果たすべき日本政府の役割ではありませんか。

労働者・国民の願いに根差したまともな野党共闘を、国でも地方でも一刻も早く実現させることを、心から呼びかけます。

労働組合と一緒に声をあげ、職場を、社会を変えて行くではありませんか。

働くものの団結万歳! 世界の労働者万歳! メーデー万歳!



大軍拡・大増税許すな! 憲法改悪NO!

いのちと暮らしが 大切にされる社会を!



来賓あいさつ

今年は次の3人の来賓の方から連帯のごあいさつを受けました。



自由法曹団京都支部 幹事長
福山 和人 弁護士



日本共産党 衆議院議員
こくた 恵二さん



新社会党京都府本部 書記長
駒井 高之さん

争議支援の訴え

多くの支援が たたかい継続の力

京大職組タケカン裁判・高山佳奈子さん、京都市の不当労働行為とたたかう福祉保育労・大西良武さん、年金引き下げ違憲訴訟原告団・楠野さん、コード争議をたたかう全印総連・山田浩正さん、JAL被解雇者組合・小栗順子さんが登壇。代表して大西良武さんが「すべての争議解決へ大きなご支援を」を訴えました。



福祉保育労 大西さん



宮津・与謝

府内11カ所で メーデー開催



丹後



舞鶴

働く者の要求を各地でアピール

コロナ禍で、メーデー大会を取りやめたり、大会だけでデモは取りやめたりした3年間でしたが、今年は各地でメーデー大会を開催し、デモ行進しました。京都府内11会場で約2200人が参加。労働者・国民の切実な要求や平和を守る願いをアピールしました。



相楽



乙訓



福知山



船井・北桑田

MAYDAY 第94回全京都統一メーデー デコ・プラコンクール 結果

コース	部門	順位	内容	団体
北コース	デコレーションの部	1位	アカン インボイス 大増税	京建労伏見支部
		2位	不要敵基地攻撃の兵器	年金者組合伏見支部
		3位	憲法9条	年金者組合伏見支部
	プラカードの部	1位	子どもたちに戦争のない平和な未来を	京都市職労民生支部
		2位	「大軍拡」より「教育」に予算を	京教組
		3位	ミサイルよりケアを!	新婦人
中コース	デコレーションの部	1位	May Day Sound Parade	医労連
		2位	軍事費よりも人権がやく未来を	民医労洛南支部
		3位	夜勤改善 大増賃上げ	民医労東支部
	プラカードの部	1位	国家公務員を増やせ	京都国公
		2位	子どもの笑顔は平和の花	福祉保育労
		3位	休みの日くらい遊びに行きたい	日本共産党
南コース	デコレーションの部	1位	賃上げと平和の傘	全印総連
		2位	ピース	建交労京都支部
		3位	5年間で43兆円の準備予算化反対	JMITU京滋地本・カシワジ支部
	プラカードの部	1位	武器を手放してください	JMITU機械金属支部
		2位	武力で平和はつくりえない	出版労連・出版ユニオン京都
		3位	最賃1500円 少子化対策は最賃引上げ	JMITU通信産業本部 京都分会

生かそう憲法 守ろう9条 5・3憲法集会in京都



2000人の府民が集まった円山音楽堂

「改憲NONO」と 2000人が声を上げる

日本国憲法が施行されて76年となる5月3日、晴天の円山音楽堂で憲法集会が行われました。
「敵基地攻撃能力」の保有、大軍拡をすすめようとする岸田政権に対して、「くらし・平和をこわす大軍拡、戦争準備反対」「憲法9条を生かした平和外交を」など平和の願いを持ち寄って2000人の府民が参加し、声をあげました。

力をあわせて 憲法を守ろう

集会では、ジャーナリストの末浪靖司さんが講演し、安保3文書の閣議決定や防衛費を大幅に増やして「トマホーク」な

基地攻撃能力を持つことで、アメリカの戦略のもとで周辺国に攻め込むことができるようになる」と批判し、「憲法に緊急事態条項を新設する動きは、9条を変えらるることにつながる。力をあわせて憲法を守ろう」と強調しました。



憲法ウォークでアピール

「憲法守ろう」と 元気にアピール

集会のあと、京都市役所前まで憲法ウォークを行いました。連休中で多くの観光客でにぎわう四条通や河原町通で、「9条改憲、ぜ

い止めなければなりません。憲法9条が目標とする外交努力や多様な対話による平和の実現を追求していきましょう。そのために『諦めない市民』として声を上げ行動し続ける覚悟を新たにしていこうと、『市民と野党の共闘』を強めていこうではありませんか」と呼びかけられています。

司法は憲法に照らして「年金引き下げ」を裁け! 不当判決に屈せず、 上告を決定!

年金引き下げ違憲訴訟 控訴棄却の不当判決



判決後の報告集会で挨拶する梶川憲議長

裁判提訴から8年、大阪高裁は原告の請求をすべて棄却した一審判決を支持し、控訴を「棄却」しました。

判決は、少子高齢化がすすみ「世代間の公平性が保てない」として、政府のすすめる年金改悪を認めました。司法は、政治に忖度せず、憲法に照らして暮らしが守れるか

否かを判断すべきです。このような判決では、将来が不安で少子化は止まりません。現在も将来も暮らしやすい政治をつくるため力を合わせていきましょう。

判決を受け上告することとを決定しました。これからもご支援よろしくお願いたします。

年金者組合京都府本部 書記長 森脇芳男

有期雇用者を保護する 立場が非常に弱い!!

全印総連 コード争議

大阪高裁で不当判決

4月21日のコード争議大阪高裁判決は、原告の訴えを棄却する不当判決でした。

判決文は、京都地裁判決以上に中身の無い後退した内容です。

判決後、裁判所前の公園で報告集会

雇用契約を更新してきたことや2年以上働いてきたこと、会社が雇用調整助成金の適用を中止して雇止めしたことなどは配慮されず、「契約更新の合理的期待があったといえない」と切り捨てています。

コロナ禍であろうが、

全印総連京都地連

日常のひとコマ

虎の郵便ポスト

相楽地労協
花田 善臣

朝護孫子寺にお参りすると、

まず最初に大きな虎が参拝者を迎えてくれます。

境内の奥へ進むと大本山成福院前には、虎の郵便ポストがお目見え。誰か置いたか頭上には白虎が、愛嬌を振りまいていました。

あなたのパシャ写真募集中!

【応募方法】①画像1枚、②タイトル、③コメント100〜200字程度、④お名前(掲載はペンネーム可)、⑤所属、⑥プレゼントの送り先を書いて、京都総評までメールでお送りください。掲載された方には図書カード(1000円分)を贈呈します。

第94回全京都統一メーデー宣言

私たちは、本日、「働くものの団結で、生活と権利、平和と民主主義を守ろう」のスローガンを掲げ、闘う歴史と伝統を受け継ぎ、第94回全京都統一メーデー大会を開催しました。

日本は、この二十数年間、賃金さがり続け、貧困と格差が広がる一方で、大企業の内部留保が激増してきました。この流れを変え、物価高騰を上回る賃上げをしないと暮らしも社会も立ちゆきません。大幅賃上げと最低賃金時給1,500円、8時間働けば人間らしく生活できる賃金と雇用、ジェンダー平等を強く求めます。暮らしを年金の実現、消費税廃止を目指し5%への減税・インボイス中止、中小企業への直接支援を行い、個人消費をあたためて、地域経済を再建しましょう。

「公共の力」を再生して、いのちと暮らしを守る社会保障を実現しましょう。コロナから一人の犠牲者も生まない公衆衛生と医療体制の充実を政府・自治体に求めるものです。

岸田内閣による「安保3文書」改定により、「戦争を仕掛ける国」と大軍拡・大増税が強行されようとしています。私たちは、戦争か平和かの岐路にたち、憲法九条をもつ国らしく、武力でなく平和外交、いのちと平和を何よりも大切にする政治の実現を求めます。

政府は、福島第一原発事故をなかったかのように、老朽原発の稼働延長と新增設など「原発回帰・永続」を打ち出しました。今も続く多くの犠牲と避難生活を愚弄するものです。私たちは、原発ゼロ社会を強く求めます。

国民不在の政治の強行に、団結して立ち向かいましょう。

働くものの団結で、労働組合を強く、大きくしましょう。全ての争議の勝利・解決を目指しましょう。

全ての労働者・府民の力をいまこそ総結集することを心から呼びかけるものです。

働くものの団結、万歳! 第94回メーデー万歳!

2023年5月1日
第94回全京都統一メーデー大会